

XHTML+CSSコーディングガイドライン

From WEBFACTORY JoyArt

目次

1.はじめに

1-1.ガイドラインの目的

1-2.ガイドラインの優先順位

2.XHTMLガイドライン

2-1.ターゲットブラウザ

2-2.命名規則

2-3.ディレクトリ構成

2-4.XML宣言

2-5.ドキュメントタイプ

2-6.文字コード

2-7.タブインデント

2-8.コメントの記述

3.CSSガイドライン

3-1.ファイル構成

3-2.文字コードの指定

3-3.クラス、IDの命名規則

3-4.コメントの記述

3-5.セレクタ、プロパティの記述

3-6.ハック

更新履歴

1.はじめに

1-1.ガイドラインの目的

WEBFACTORY JoyArtでは、作業効率の向上、品質の保障、メンテナンス性の確保を目的とし、当ガイドラインに基づいたコーディングを行います。

1-2.ガイドラインの優先順位

CMS等の仕様によるコーディングおよびディレクトリ階層等の指定がある場合は、作業を行うWEBサイト毎の仕様を優先するものとする。

2.XHTMLガイドライン

2-1.ターゲットブラウザ

Windows	MAC
Internet Explorer 8.0~10.0	Safari 最新版
Firefox 最新版	Firefox 最新版
Chrome 最新版	
Safari 最新版	

※上記以外のブラウザ、及び下位バージョンへの対応が必要な場合は、可能な範囲で対応を行うものとする。

2-2.命名規則

画像などのファイル名には半角英数字、アンダースコアのみを使用し、用途に応じた名前をつけ、必要に応じ連番をつける。

※アルファベットは小文字のみ

キーワード.拡張子

キーワード_キーワード.拡張子

キーワード_連番.拡張子

キーワード_キーワード_連番.拡張子

※キーワードには、CSSのセレクトタ名、用途の略語等わかりやすい命名を行う

以下、ファイル名の例

ロゴ
logo.gif

背景画像
body_back_01.gif
header_back_01.gif

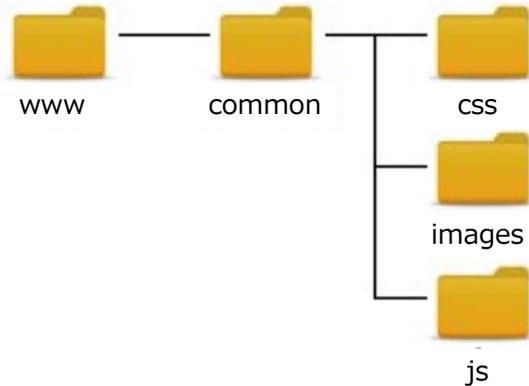
グローバルナビゲーション
navi_01.jpg
navi_02.jpg

その他の画像
img_01.jpg
img_02.jpg

2.XHTMLガイドライン

2-3.ディレクトリ構成

画像ファイル、css、javascript用の各ディレクトリをcommonディレクトリ内に配置。
htmlファイルはwwwディレクトリ直下にそれぞれ配置を行う。



2-4.XML宣言

HTML開始直後には、必ずXML宣言を行う。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
```

2-5.ドキュメントタイプ

ドキュメントタイプは『XHTML 1.0 Transitional DTD』を標準とする。

```
<!DOCTYPE html PUBLIC "-//W3C//DTD XHTML 1.0 Transitional//EN" "http://www.w3.org/TR/xhtml1/DTD/xhtml1-transitional.dtd">
```

2-6.文字コード

『UTF-8』を標準とし、headタグ内で必ず宣言を行う。

```
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=UTF-8" />
```

2.XHTMLガイドライン

2-7.タブインデント

headタグ内ではタブインデントは使用しないものとし、bodyタグ内でのみタブインデントを使用する。

以下、記述例

```
<div id="wrapper">
  <!--ヘッダー開始-->
  <div id="header">
    <h1><a href="/"></a></h1>
    <!--ナビゲーション開始-->
    <div id="navigation">
      <ul>
        <li><a href="#">keyword</a></li>
        <li><a href="#">keyword</a></li>
        <li><a href="#">keyword</a></li>
        <li><a href="#">keyword</a></li>
        <li><a href="#">keyword</a></li>
      </ul>
    </div>
    <!--ナビゲーション終了-->
  </div>
  <!--ヘッダー終了-->
</div>
</body>
```

2.XHTMLガイドライン

2-8.コメントの記述

コメントはHTMLソースの可読性、メンテナンス性を向上させるために記述を行う。

具体的にはレイアウト構成要素、コンテンツ要素のネストが多い場合など、その該当要素の開始直前と終了直後に記述を行う。

```
<!-- パーツ名開始 -->  
<!-- パーツ名終了 -->
```

以下、コメント記述例

```
<!--ヘッダー開始-->  
<div id="header"> ←ヘッダー開始  
  ~中略~  
</div> ←ヘッダー終了  
<!--ヘッダー終了-->  
  
<!--ナビゲーション開始-->  
<div id="navigation"> ←ナビゲーション開始  
<ul>  
  ~中略~  
</ul>  
</div> ←ナビゲーション終了  
<!--ナビゲーション終了-->
```

3.CSSガイドライン

3-1.ファイル構成

以下を基本構成とし、commonディレクトリ内にcssディレクトリを作成し、格納するものとする。

```
import.css ← 各CSSファイルインポート用
base.css ← リセット、再定義用
common.css ← 汎用スタイルシート用
layout.css ← レイアウト用 ※ヘッダー、フッター含む
content.css ← 各コンテンツ用 ※サイドカラム含む
```

3-2.文字コードの指定

『UTF-8』を標準とし、各cssファイル冒頭に必ず宣言を行うものとする。

```
@charset "UTF-8";
```

3-3.クラス、IDの命名規則

クラス、IDには半角英数字、アンダースコアのみを使用し、用途に応じた名前をつけ、必要に応じて連番をつける。※アルファベットは小文字のみ

レイアウト関連 #header、#footer、#wrapper、#content、#main、#side	ナビゲーション #navigation
パーツ link、btn、img_01、img_02	

3.CSSガイドライン

3-4.コメントの記述

各用途に応じたコメントの記述方法を取り、以下のように記述するものとする。

↓ファイル冒頭用の例

```
/**  
 *  
 * リセット、ベース用  
 *  
 **/
```

↓レイアウト、ページ、テーマ用の例

```
/**  
 * メインカラム  
 **/
```

↓パーツ用の例

```
/* お問い合わせフォーム */
```

3.CSSガイドライン

3-5.セクタ、プロパティの記述

セクタの記述は極カ子孫セクタの記述を少なくし、セクタと「{」の間に半角スペースを入れる。
プロパティの前にタブインデントを入れ「:」の後に半角スペースを入れる。

```
#header {  
    margin: 0 auto;  
    width: 900px;  
    height: 120px;  
}
```

フォント以外のプロパティは、極カショートハンドでの記述を行う。

```
margin: 0 0 0 0;  
padding: 5px;
```

プロパティの値が0の場合は、単位は省略する。

```
margin: 0 0 0 0;  
padding: 0 0 0 0;
```

font-size、line-heightは『%』で指定する。

```
font-size: 75%;  
line-height: 160%;
```

3.CSSガイドライン

3-6.ハック

ハックは極力使用せず、ブラウザ間の調節を行うものとし、必要な場合は、対象のセレクタの直後に記述する。

```
.box {  
  padding: 0 10px;  
  width: 880px;  
  height: 120px;  
}  
* html .box { width: 900px; }
```

更新履歴

更新日時	内容
2013.02.18	3-5.セクタ、プロパティの記述 セクタの記述は極力子孫セクタの記述を少なくし、プロパティは1行につき、タブインデントを入れる。 ↓ セクタの記述は極力子孫セクタの記述を少なくし、セクタと「{」の間に半角スペースを入れる。 プロパティの前にタブインデントを入れ「:」の後に半角スペースを入れる。
2013.02.08	3-1.ファイル構成 base.css ← リセット、ベース用 ⇒ base.css ← リセット、再定義用
2013.01.07	コーディングガイドライン作成開始